

2013.2.24



2月24日、学習館主催の第四回イベントが行われました。
今回は寺泊水族博物館の展望室から、日本海の冬の海鳥を観察しました。

● 観察のようす



当日は冬の日本海らしい荒れた天候でしたが、講師の渡辺先生によると、そのほうがたくさんの鳥が入り江に入ってきやすいとのこと。
多くのカモメ類が、岩の上で羽を休めていました。



ガラス張りの展望室からは、カモメ達の飛翔の様子も間近で観察でき、すごい迫力でした。
渡辺先生の解説で、皆カモメの種類が見分けられるようになりました。
観察会後には水族博物館の見学もさせていただき、子供達も大喜びでした。

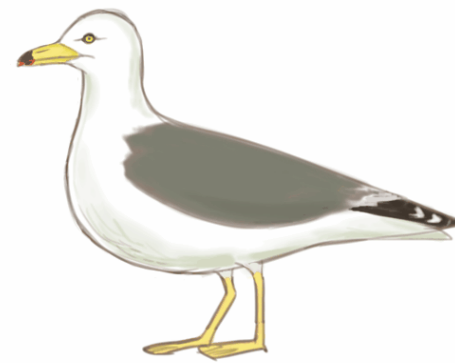
● 今回観察できたカモメ類と、その見分け方 くちばしの斑点、脚の色、背の色が見分け方のポイントです。



カモメ 体長 40~46cm **冬鳥**
くちばし：黄色
脚：黄色
背：薄い灰色



オオセグロカモメ 体長 55~67cm **冬鳥**
くちばし：黄色に赤い斑点
脚：ピンク
背：濃い灰色



ウミネコ 体長 44~47cm **留鳥**
くちばし：黄色に赤と黒の斑点
脚：黄色
背：濃い灰色

今回もお寒い中、たくさんのご参加ありがとうございました。
次回のイベントは5月下旬、地元夏戸にて、
田んぼの生きもの調査などを予定しています。
どなたでもご参加いただけますので、ぜひお誘い合わせの上お越しください。
詳細は学習館ホームページ、各広報等で追ってお知らせいたします。

トキと自然の学習館

で検索

